

2 調査方法

(1) 調査対象範囲

本調査で対象とした保護上重要な野生生物種は、レッドデータブック（環境省）及びレッドデータブックにいがた（新潟県，2001）に記載されている種などから、本市域に生息・生育が確認されている種及び生育の可能性がある種としました。

ア 調査対象分類群

a 動物

哺乳類，鳥類，爬虫類，両生類，淡水魚類，大型水生甲殻類，昆虫類，
陸・淡水産貝類

b 植物

維管束植物

イ 調査対象生息・生育地

陸産・淡水産の種を対象とし，また，純海産の種を対象外としました。

なお，魚類については，原則として河川・湖沼や汽水域に生息する種を対象としました。

ウ 外来種・移入種

明らかな外来種や移入種については，対象外としました。

エ その他

市内に安定的に生息・生育しない種や過去の文献から確認記録があるが，生息・生育が疑われる種については，対象外としました。

(2) 選定評価の方法

「レッドデータブックにいがた2001」との対応の混乱を避けるため，新潟県で採用された区分の定義を新潟市における区分の定義に準用し，市内における保護上重要な野生生物の評価を行いました。

新潟市における本調査でも定量的要件を採用しなかったため，環境省で採用している絶滅危惧ⅠA類・ⅠB類の区別を行っていません。

環境省で採用している「情報不足」の区分は，新潟県と同様に「単なる調査不足との誤解を招くおそれ」があることや「安易な多用」を避けるため，本調査では採用していません。

「地域個体群」については，「希少な種」「分布が局限・孤立している種」「分布の南限・北限等，市内の産地が分布限界にあたる種」「市内に模式産地がある種」など，いわゆる貴重種を取り上げることにしました。

新潟市カテゴリー定義

区 分		基本概念	定性的要件
絶滅 Extinct (EX)		市域内ではすでに絶滅したと考えられる種	過去に市域内に生息・生育していたことが確認されており，飼育・栽培下を含め，市域内ではすでに絶滅したと考えられる種
野生絶滅 Extinct in the Wild (EW)		飼育・栽培下でのみ存続している種	過去に市域内に生息・生育していたことが確認されており，飼育・栽培下では存続しているが，市域内において野生ではすでに絶滅したと考えられる種 【確実な情報があるもの】 ①信頼できる調査や記録により，すでに野生で絶滅したことが確認されている。 ②信頼できる複数の調査によっても，生息・生育が確認できなかった。 【情報量の少ないもの】 ③過去50年間前後の間に，信頼できる生息・生育の情報が得られていない。
絶滅危惧 THREATENED	絶滅危惧 I 類 Endangered (EN)	絶滅の危機に瀕している種（現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合，野生での存続が困難なもの）	次のいずれかに該当する種 【確実な情報があるもの】 ①既知のすべての個体群で，危機的水準にまで減少している。 ②既知のすべての生息・生育地で，生息・生育条件が著しく悪化している。 ③既知のすべての個体群が，その再生産能力を上回る捕獲・採取圧にさらされている。 ④ほとんどの分布域に交雑のおそれのある別種が侵入している。 【情報量が少ないもの】 ⑤それほど遠くない過去（30～50年）の生息・生育記録以後確認情報がなく，その後信頼すべき調査が行われていないため，絶滅したかどうかの判断が困難なもの。

区 分		基本概念	定性的要件
絶滅危惧 THREATENED	絶滅危惧Ⅱ類 Vulnerable (VU)	絶滅の危険が増大している種（現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧Ⅰ類」のランクに移行することが確実と考えられるもの）	次のいずれかに該当する種 【確実な情報があるもの】 ①大部分の個体群で、個体数が大幅に減少している。 ②大部分の生息・生育地で生息条件が明らかに悪化しつつある。 ③大部分の個体群がその再生産能力を上回る捕獲・採取圧にさらされている。 ④分布域の相当部分に交雑可能な別種が侵入している。
	準絶滅危惧 Near Threatened (NT)	存在基盤が脆弱な種（現時点での絶滅危険度は小さいが、生息・生育条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの）	次に該当する種 生息・生育条件の推移から見て、種の存続への圧迫が強まっていると判断されるもの。具体的には、分布域の一部において、次のいずれかの傾向が顕著であり、今後もさらに進行するおそれがあるもの。 a. 個体群が減少している。 b. 生息・生育条件が悪化している。 c. 過度の捕獲・採取圧による圧迫を受けている。 d. 交雑可能な別種が侵入している。
	付属資料 地域個体群 Local Population (LP)	保護に留意すべき地域個体群	次のいずれかに該当する種 ①希少な種 ②分布が局限・孤立している種 ③分布の南限・北限等、市内の産地が分布限界にあたる種 ④市内に模式産地がある種（積極的に選定する理由がある場合）

カテゴリーの比較

環境省 (1997)	新潟県 (2001)	新潟市 (2009)
絶滅 Extinct (EX)	絶滅 Extinct (EX)	絶滅 Extinct (EX)
野生絶滅 Extinct in the Wild (EW)	野生絶滅 Extinct in the Wild (EW)	野生絶滅 Extinct in the Wild (EW)
絶滅危惧 Threatened	絶滅危惧 Threatened	絶滅危惧 Threatened
絶滅危惧 I 類 (CR+EN)	絶滅危惧 I 類 Endangered (EN)	絶滅危惧 I 類 Endangered (EN)
絶滅危惧 I A 類 Critically Endangered (CR)		
絶滅危惧 I B 類 Endangered (EN)		
絶滅危惧 II 類 Vulnerable (VU)	絶滅危惧 II 類 Vulnerable (VU)	絶滅危惧 II 類 Vulnerable (VU)
準絶滅危惧 Near Threatened (NT)	準絶滅危惧 Near Threatened (NT)	準絶滅危惧 Near Threatened (NT)
情報不足 Data Deficient (DD)		
付属資料 絶滅のおそれのある地域個体群 Threatened Local Population (LP)	付属資料 地域個体群 Local Population (LP)	付属資料 地域個体群 Local Population (LP)